

全銀EDIシステムの紹介



平成31年1月版
一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク

全銀EDIシステム紹介



マスコットキャラクター「ゼディくん」

平成30年12月25日午前8時から、
「全銀EDIシステム」
(愛称：ZEDI (ゼディ)) が
稼動を開始しました！

ZEDIとは

【構築決定までの背景】

・ 安倍内閣で2015年6月に閣議決定されました「日本再興戦略・改訂2015」には「**未来への投資・生産性革命**」が“新三本の矢”のひとつとして掲げられています。現在、政府は、2020年度までの3年間で「生産性革命集中投資期間」と位置づけ、中小、小規模事業も含め、生産性の向上に向けて、企業による設備や人材への投資を促し、税制や予算、規制改革を大胆に実施していく、と表明しております。

・ また、2016年6月に閣議決定されました「日本再興戦略2016」では、「活力ある金融・資本市場の実現」として、**決済事務合理化に向けてXML電文への移行(拡張EDI交換)の実現に向けた取組みを進める**ことが、政府方針として示されました。なお、この方針は「未来投資戦略2017」「未来投資戦略2018」に引き継がれています。

全国銀行協会(全銀協)および全国銀行資金決済ネットワーク(全銀ネット)は、この政府方針にもとづき、**2016年12月に全銀EDIシステムの構築を決定**いたしました。

日本再興戦略2016(抜粋)

金融高度化を推進するため、企業間の銀行送金電文を、2020年までを目途に国際標準であるXML電文に移行し、送金電文に商流情報の添付を可能とする金融EDIの実現に向けた取組を進める。

【出所】日本経済再生本部「日本再興戦略2016(第二部 具体的施策 P158)」(2016年6月2日)」

ZEDIとは

2015年12月 金融審議会「決済業務等の高度化に関するワーキング・グループ報告」

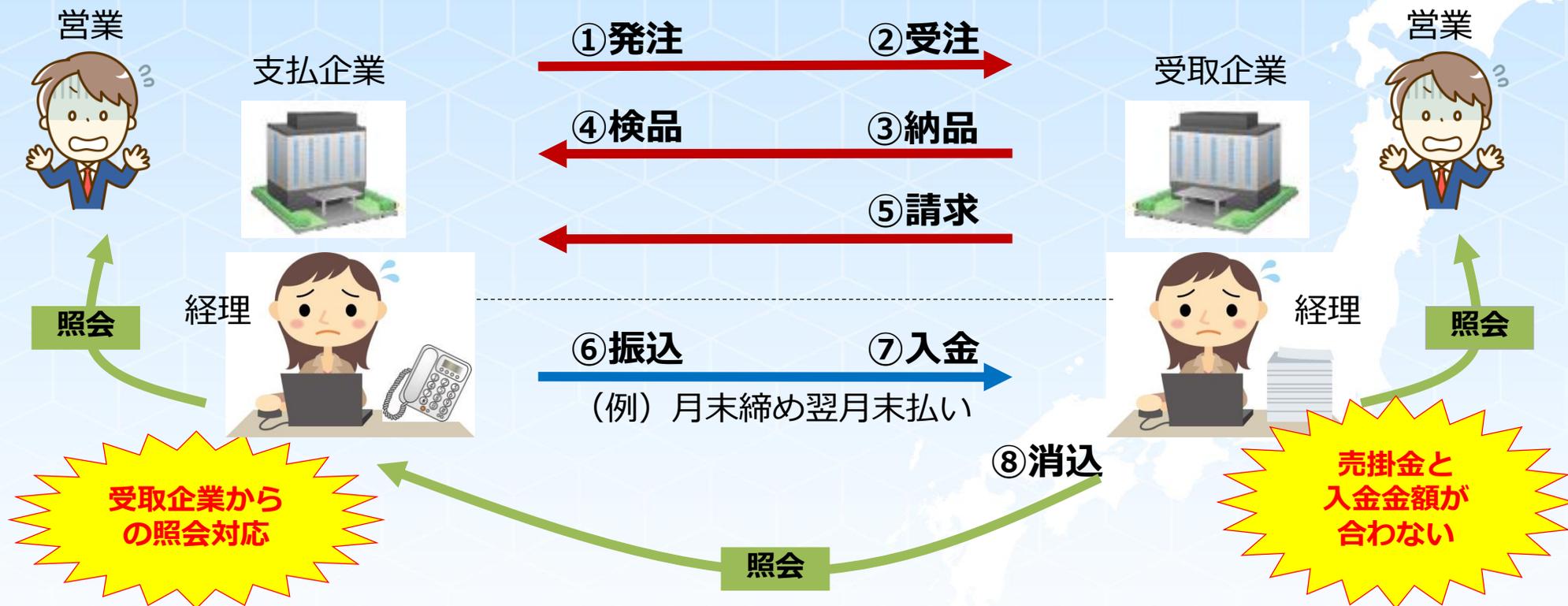
2016年6月 日本再興戦略2016

2017年6月 未来投資戦略2017

2018年6月 未来投資戦略2018

- 金・商流連携等に向けたインフラの整備
- ・ 本年12月の全銀EDIシステムの稼働、平成32年までの送金電文の全面的XML化を着実に実現するため、全国銀行協会、商工会議所等の金融界・産業界や関係省庁が連携し、周知活動や当該システムの活用事例の共有などの取組を推進する。
- ・ 企業間の受発注の電子化（商流EDI）の共通化を引き続き推進するとともに、金融界・産業界・関係省庁が連携して、全銀EDIシステムを用いた送金情報と商流EDIの接続に係る実証実験を本年度中に実施するなど、金融EDIと商流EDIの連携を推進する。

売掛金等の消込の現状



- 企業の多くが複数の商取引の代金を合算して支払い（振込）。
- 受取企業側で認識している回収金額（売掛金）と、実際の入金金額が合わないケースがある。その場合、営業担当や支払企業に照会するなどにより原因を調査する必要がある。

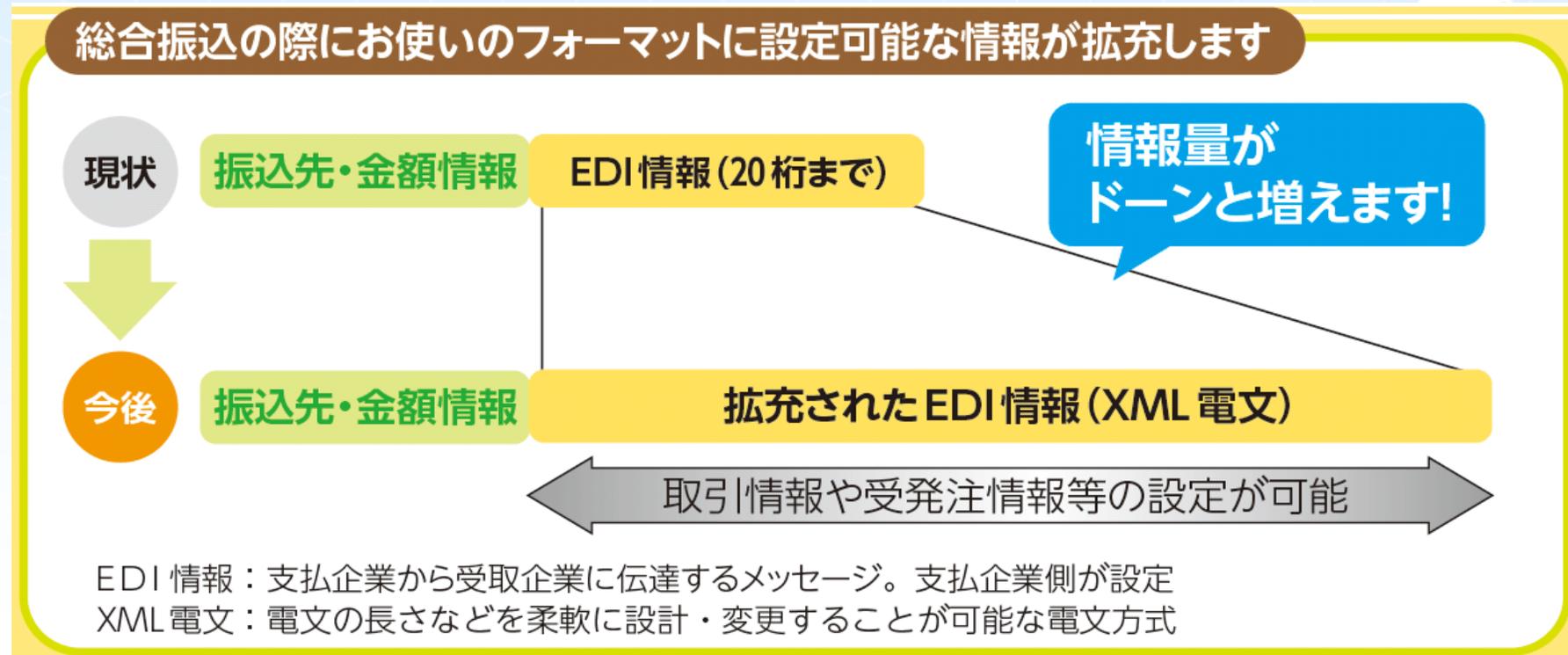
金融EDIの活用効果



- 振込に添付された情報（金融EDI情報）を活用することで、売掛金の消込が効率化。
- 経理業務の負担軽減のほか、営業担当や支払企業への照会も不要になる。

ZEDIによるEDI情報の拡張

- ZEDIとは、企業間の振込電文を金融取引における次世代の国際標準である**XML電文（ISO20022）へ移行し、EDI情報の拡充に対応するためのシステム。**
- ZEDIを利用することにより、支払企業から受取企業に振込を行う際に、**さまざまなEDI情報（支払通知番号・請求書番号など）が添付可能**となります。



対象となるサービスおよびチャネル

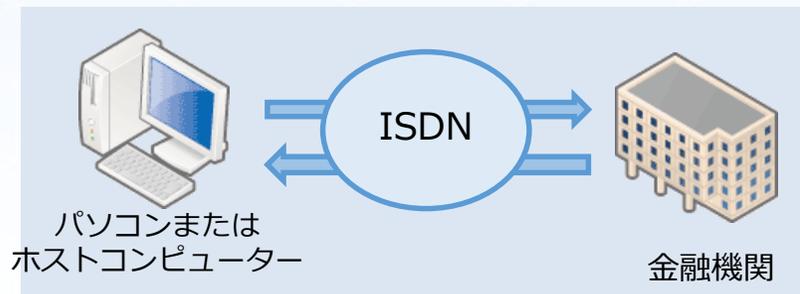
区分	サービス	チャネル
支払企業	総合振込※	一括ファイル伝送 (FB) インターネットバンキング (IB)
受取企業	振込入金通知 入出金取引明細	

※ 給与振込・賞与振込等は対象外（従来どおり）

一括ファイル伝送 (FB)

概要

企業のホストやパソコンと銀行システムをISDN（電話回線）で接続し、総合振込（複数件の振込依頼）や残高照会、入出金明細照会等を行うサービス。



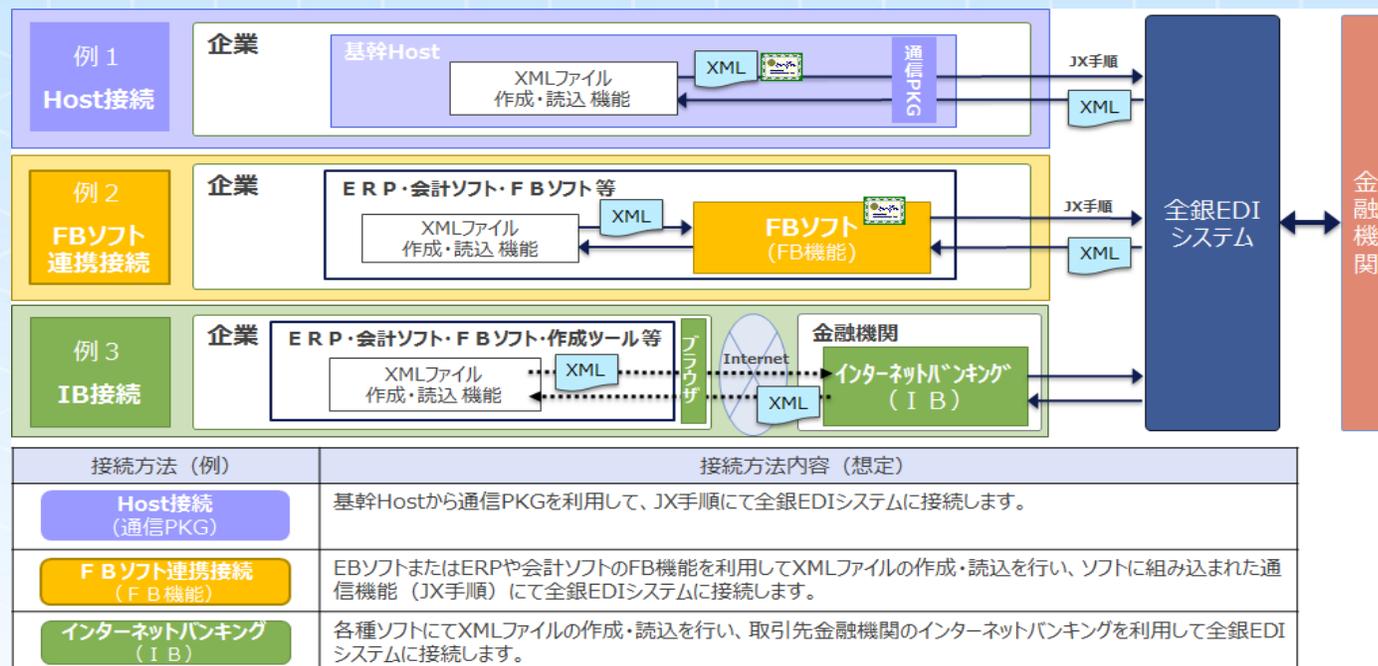
インターネットバンキング (IB)

概要

企業のパソコンと銀行システムをインターネット回線で接続し、総合振込（複数件の振込依頼）や残高照会、入出金明細照会等を行うサービス。



主な接続方法



※上記機能および接続方法は一例であり、ファイルの作成・読込および接続方法を指定・限定するものではありません。

○クライアント証明書

- ・証明書は、一括ファイル伝送 (FB) の接続認証で使用するため、全銀ネットが発行いたします。なお、インターネットバンキング (IB) 方式では、この証明書は使用しません。
- ・証明書の発行申請は、お取引金融機関で行います (マルチバンク方式)。なお、証明書の有効期限は、2年 (730日) で、期限到来の40日前から証明書の更新が可能です。

ZEDIを利用するためには～お客さまのご対応事項～

<現在の振込方法>

ファームバンキング（FB）・
インターネットバンキング
（IB）をご利用のお客さま

ATM・銀行窓口・ファクシミリを
ご利用のお客さま

<対応事項>

ZEDIに対応した**通信ソフト
ウェアや会計ソフトのバージョン
アップ**等をお願いします!!

ZEDIに参加している金融
機関が提供する**FB・IBの
導入**をお願いします!!

ZEDIが
ご利用いただけます



詳しくは、お取引金融機関までお問い合わせください

加盟銀行の参加状況

全銀システム加盟銀行（平成30年11月末現在）

	清算参加者数 (直接接続参加)
都市銀行	5
地方銀行	64
第二地方銀行協会加盟銀行	40
信託銀行	9
外国銀行	7
その他銀行※	15
銀行計	140
信金中央金庫	1
全国信用協同組合連合会	1
労働金庫連合会	1
農林中央金庫	1
合計	144

※ネット系銀行・流通系銀行・商工中金・ゆうちょ銀行など。

ZEDIの参加状況

銀行全体の65%にあたる91行の銀行と、信用金庫業態（信金中央金庫と229の信用金庫）の合計321金融機関が、サービス提供開始当初から参加。

サービス提供開始以降も、準備が整い次第参加する金融機関があるため、参加金融機関は今後も拡大。

ZEDI利用開始までの課題解決

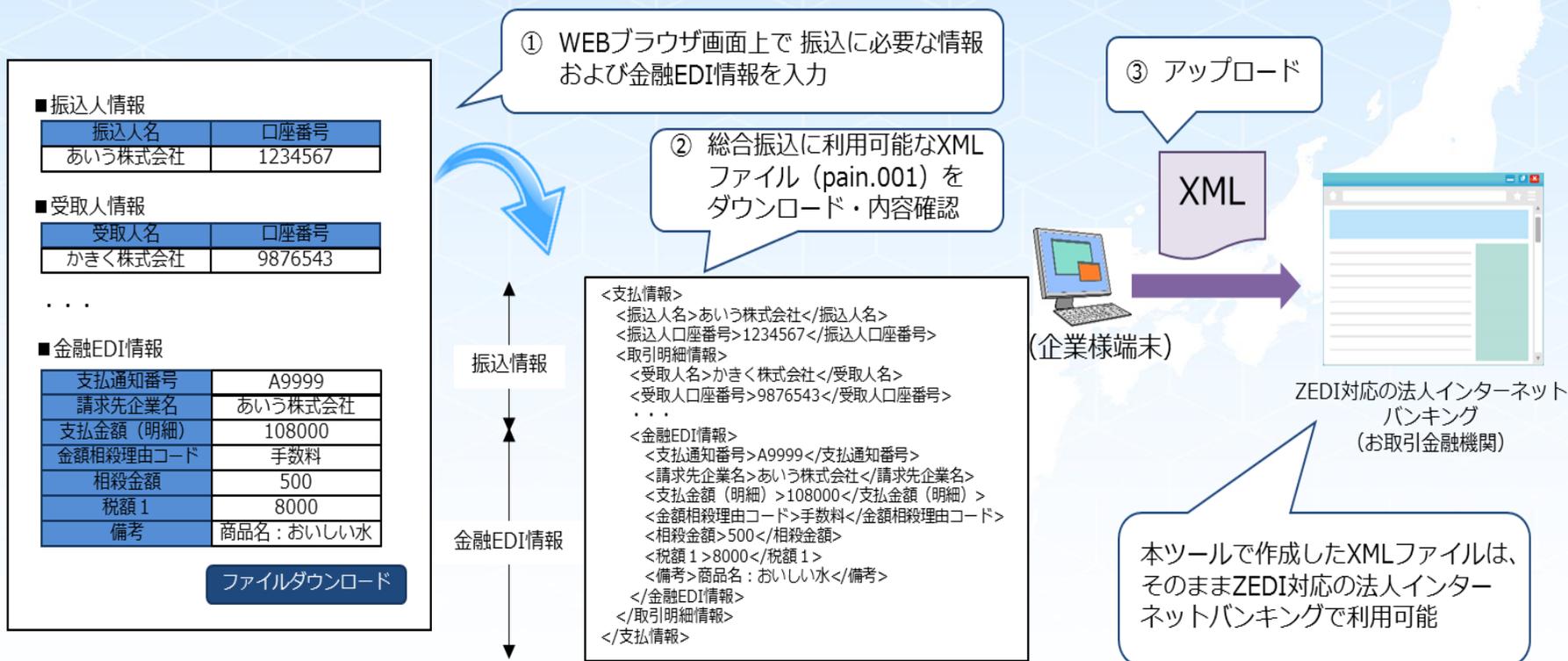


そんな便利ツールが・・・**S-ZEDI**です。

- **専用ソフトの購入や会計システムの改修といった対応なし**に、ZEDIに対応した総合振込用のXMLファイルを作成することができ、**ZEDIの導入コストを軽減**。
- 作成した振込電文（XMLファイル）をインターネットバンキング等でご活用いただくことで、取引先に対して内訳情報等を添付した振込の実施が可能。

S-ZEDIとは

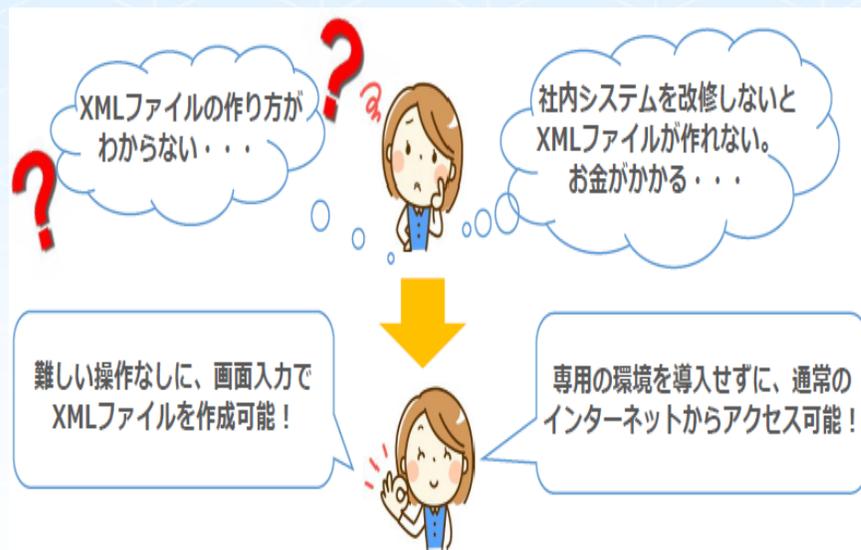
- ▶ XMLファイルを作成するツール等のご準備が難しい企業向けに、WEBブラウザ画面上で情報を入力することで、総合振込業務において使用するXMLファイルを簡易に作成できる機能「S-ZEDI」(Simple-ZEDI)を無料で提供します。



⇒S-ZEDIで作成したファイルは、そのままZEDI対応の法人IBにおいて利用可能。FBでのご利用の場合は専用の通信ソフトが必要です。

S-ZEDIとは (続き)

- ・作成した振込電文(XMLファイル)をインターネットバンキング等でご活用いただくことで、取引先に対して内訳情報等を添付した振込の実施が可能となります。
- ・専用ソフトの購入や会計システムの改修といった対応なしに、ZEDIに対応した総合振込用のXMLファイルを作成することができ、ZEDIの導入コストを軽減します。



全銀EDIシステム

利用可能時間 8:00~19:00 [マニュアルダウンロード](#) サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。

簡易XMLファイル作成 総合振込依頼 振込人情報入力

本画面では、入力情報をもとに総合振込に利用するXMLファイルを作成できます。
※は必須項目です。

■取引日
取引日
(YYYYMMDD)

■振込依頼人情報

振込依頼人コード <input type="text" value=""/>	振込依頼人名 <input type="text" value=""/>	法人番号(法人マイナンバー) <input type="text" value=""/>	
(半角数字10桁)	(半角40文字以内)	(半角数字15桁)	
銀行番号 <input type="text" value=""/>	銀行名 <input type="text" value=""/>	支店番号 <input type="text" value=""/>	支店名 <input type="text" value=""/>
(半角数字4桁)	(半角15文字以内)	(半角数字3桁)	(半角15文字以内)
預金種目 <input type="text" value=""/>	口座番号 <input type="text" value=""/>		
(半角数字7桁以内)			

■取引管理情報

グループメッセージID <input type="text" value=""/>	支払情報ID <input type="text" value=""/>
(半角35文字以内)	(半角35文字以内)

■取引明細一覧

[取引明細入力](#) 受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融EDD情報を入力する画面へ移動します。

[取引明細削除](#) チェックした取引明細を一覧から削除します。

■取引明細合計

合計件数(件)	合計金額(円)
0	0

[総合振込依頼明細\(確認用\)ファイルダウンロード](#) 入力された情報を確認するための、総合振込依頼明細(確認用)ファイルをダウンロードします。このファイルは内容確認用のファイルであり、総合振込にはご利用できません。

[総合振込依頼明細ファイルダウンロード](#) 総合振込にて利用可能な総合振込依頼明細ファイルをダウンロードします。総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

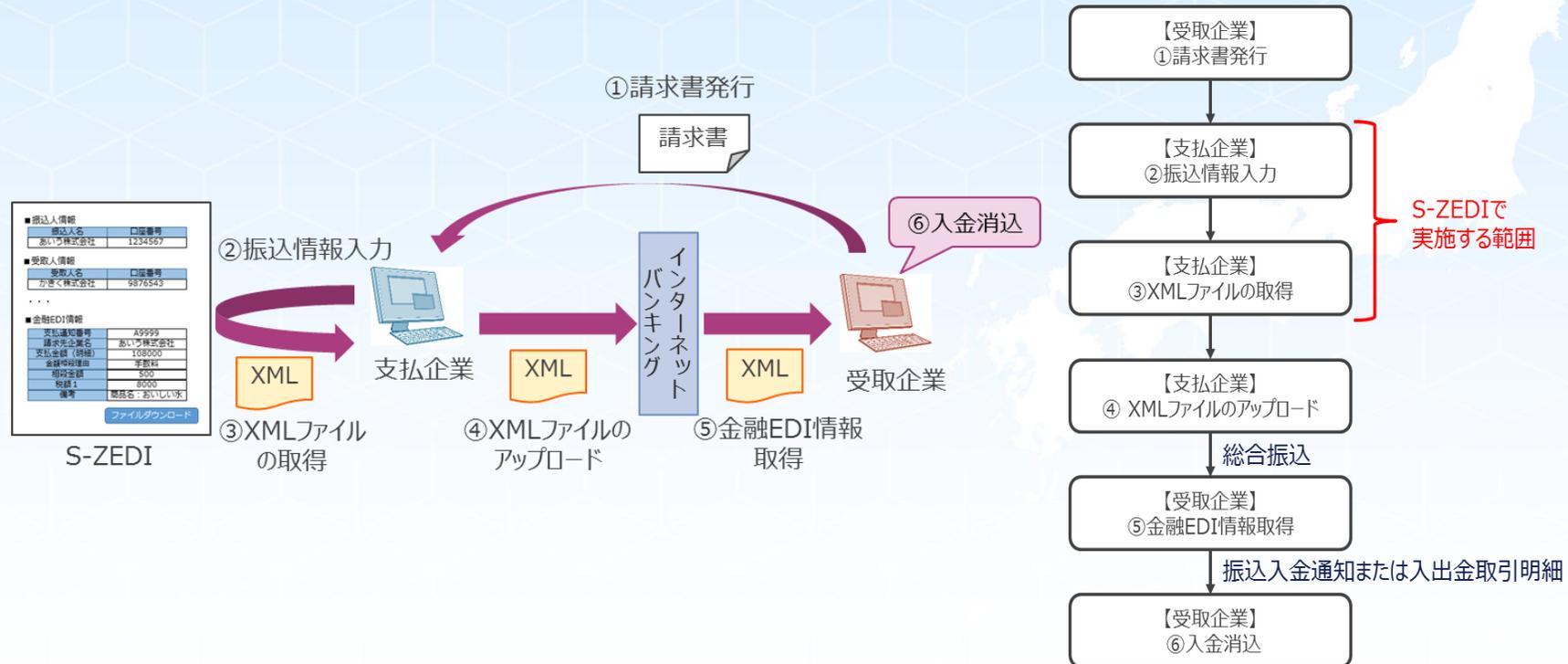
※30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

振込の実施イメージ（インターネットバンキング）

【概要】

・S-ZEDIを利用したインターネットバンキング経由の振込の概要は下図のとおりです。各項の内容については次頁においてご説明いたします。

また、S-ZEDIを利用したインターネットバンキング経由の振込は以下の流れとなります。
 支払企業が実施する②情報入力、③XMLファイルの取得がS-ZEDIで実施可能な作業となります。



S-ZEDIの使い方（入門編）

全銀EDIシステム

利用可能時間 8:00~19:00 [マニュアルダウンロード](#) 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。

簡易XMLファイル作成_総合振込依頼_振込人情報入力

本画面では、入力情報をもとに総合振込に利用するXMLファイルを作成できます。
※は必須項目です。

■取組日

取組日 ※
(YYYYMMDD)

(2) 支払情報の入力

■振込依頼人情報

振込依頼人コード ※	振込依頼人名 ※	法人番号(法人マイナンバー)
(半角数字10桁)	(半角40文字以内)	(半角数字19桁)

発行番号 ※	銀行名	支店番号 ※	支店名
(半角数字4桁)	(半角15文字以内)	(半角数字9桁)	(半角15文字以内)

預金種目	口座番号
	(半角数字7桁以内)

■取引管理情報

グループメッセージID ※	支払情報ID ※
(半角95文字以内)	(半角95文字以内)

■取引明細一覧

[取引明細入力](#) [取引明細一覧](#) [取引明細印刷](#)

(3) 取引明細画面への遷移

■取引明細合計

合計件数(件)	合計金額(円)
0	0

[総合振込依頼明細\(確認用\)ファイルダウンロード](#) 入力された情報を確認するための、総合振込依頼明細(確認用)ファイルをダウンロードします。このファイルは内容確認用のファイルであり、総合振込にはご利用できません。

[総合振込依頼明細ファイルダウンロード](#) 総合振込にご利用可能な総合振込依頼明細ファイルをダウンロードします。総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

90分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。
本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

(1) WEB画面へのアクセス

WEBブラウザからS-ZEDIのURLにアクセスします。

(2) 支払情報の入力

左記の振込依頼人情報入力画面において、取組日、振込依頼人情報等を入力します。グループメッセージID、支払情報IDは、XMLファイルの仕様上必須項目となります。初期値として現在日時 (YYYYMMDD hhmm) + "001"が表示されますので、異なるIDにしたい場合は変更してください。利用しない場合には、特に変更の必要はありません。

(3) 取引明細画面への遷移

取引明細入力ボタンを押下し、取引明細入力画面に遷移します。

S-ZEDIの使い方（入門編） 続き

全銀EDIシステム

利用可能時間 0:00~19:00 マニュアルダウンロード サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。

簡易XMLファイル作成 総合振込依頼 取引明細入力

本画面では、受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融EDI情報を入力します。
※は必須項目です。

(4) 取引明細情報の入力

■受取人情報

受取人名 ※ <small>(半角30文字以内)</small>	法人番号(法人マイナンバー) <small>(半角数字13桁)</small>	手形交換所番号 <small>(半角数字4桁)</small>
銀行番号 ※ <small>(半角数字4桁)</small>	銀行名 <small>(半角15文字以内)</small>	支店番号 ※ <small>(半角数字9桁)</small>
支店名 <small>(半角15文字以内)</small>		
預金種目 ※	口座番号 ※ <small>(半角数字7桁以内)</small>	

■振込金額

振込金額(円) ※ <small>(半角数字10桁以内)</small>

■その他取引明細情報

取引明細識別番号 ※ <small>(半角35文字以内)</small>	顧客コード1 <small>(半角10文字以内)</small>	顧客コード2 <small>(半角10文字以内)</small>
振込指定区分	課別表示 <small>(半角1桁)</small>	新規コード ※

(5) 金融EDI情報の入力

■金融EDI情報

金融EDI情報1
業界区分(1)
データ区分(1)
支払通知番号(1)
支払通知発行日(1)
請求番号(入力権限)(1)
支払人企業法人コード(入力権限)(1)
受取人企業法人コード(1)
請求先企業名(1)
請求先企業法人コード(1)
支払金額(明細)(1)
金融相殺理由(1)
相殺金額(1)
相殺1(1)
相率1(1)
相殺2(1)
相率2(1)

(6) 取引明細一覧に反映
(振込依頼人情報入力画面に遷移)

取引明細一覧へ反映 取引明細一覧へ反映せずに戻る

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。
本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問合わせください。

(4) 取引明細情報の入力

左記の取引明細入力画面において、受取人情報、振込金額等を入力します。

(5) 金融EDI情報の入力

必要に応じて、取引に紐付く金融EDI情報を入力します。

金融EDI情報は、1取引明細あたり最大10件まで入力可能です。

(6) 取引明細一覧へ反映

取引明細情報、金融EDI情報の入力が完了したら、取引明細一覧に反映ボタンを押下し、振込依頼人情報入力画面（次ページ）に遷移します。取引明細一覧に入力した内容が反映されます。

金融EDI情報項目（18項目）について

- S-ZEDI（簡易XMLファイル作成機能）の金融EDI情報項目について、様々な利用シーンに配慮した**18項目の金融EDI情報項目（タグ名含む）**を下記のとおり策定。
- 使用例を整理した利用ガイドの最終版を作成し、S-ZEDIのチラシや紹介デモとセットで全銀ネットHPへ掲載。<https://www.zengin-net.jp/zedi/>

「金融EDIにおける商流情報等のあり方検討会議」においてとりまとめられた金融EDI情報として格納すべき商流情報（本資料11頁）から抽出した**12項目**

消費増税・軽減税率対応で必要となる**5項目**

管理上利用する項目	最低限必要な項目	IT化推進による事務合理化に必要と思われる項目	利用可能とすべき項目	簡易ツールとして追加する項目
業界区分	支払通知番号	受取人企業法人コード	金額相殺理由	税額1
データ区分	支払通知発行日	請求先企業名	相殺金額	税率1
	請求書番号（入力推奨）	請求先企業法人コード		税額2
	支払人企業法人コード（入力推奨）	支払金額（明細）		税率2
				税額（合計）
				備考

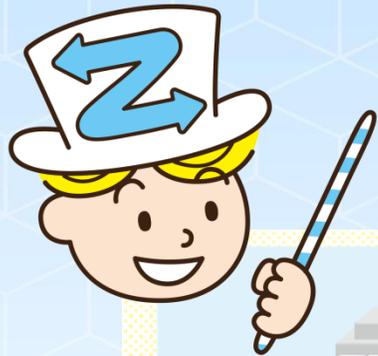
事業所情報や商品コード等、多様な項目の補記を可能とする**1項目**

金融EDI情報項目（18項目）について（続き）

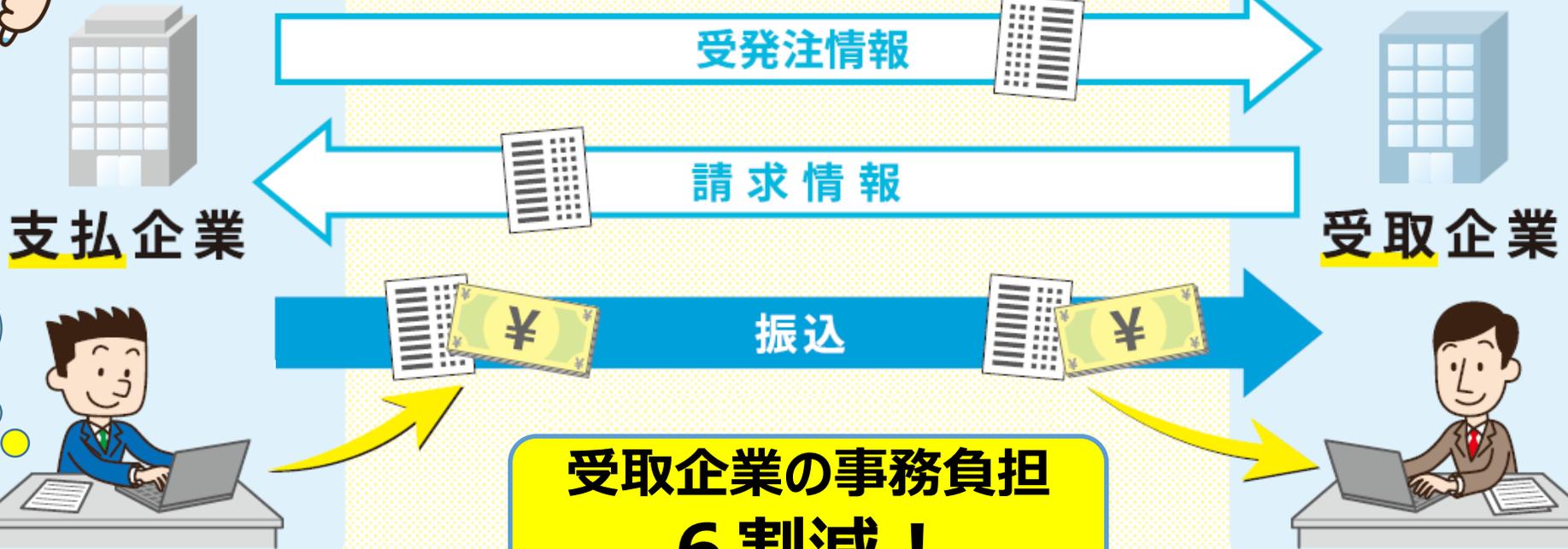
【入金消込の具体例】

事例	内容	対応案
複数請求の 合算振込	複数請求がまとめて振り込まれ、単体の請求書の金額と振込金額が合致しない。	「請求番号」に合算する請求書番号を全て入力する。
翌月分の 合算振込	定期的な取引で翌月分の請求が事前に確定している場合等に、今月と翌月の請求がまとめて振り込まれ、単体の請求書の金額と振込金額が合致しない。	「備考」に翌月分を含めている旨を入力する。
請求金額の 分割振込	請求書の行単位での一部支払により、請求書の金額と振込金額が合致しない。	「請求書番号」に行番号を含めて入力する。 例)「9999-01」 請求書番号:9999の1行目
	単体の請求書の請求が分割して振り込まれ、請求書の金額と振込金額が合致しない。	「備考」に一部支払とする旨を入力する。 例)一部支払で残りは〇〇
振込依頼人名の 不一致	代行会社等による振込により、請求書の宛先と支払人が合致しない。	「請求先企業法人コード」「請求先企業名」に請求書の宛先の企業情報を入力する。
振込手数料の 控除	振込手数料が請求金額から差し引かれ、請求書の金額と振込金額が合致しない。	「金額相殺理由」に減額の理由、「相殺金額」に減額した金額を入力する。 例)金額相殺理由:振込手数料 相殺金額:540
返品等の 減額振込	請求書発行後の返品等による振込金額の減額により、請求書の金額と振込金額が合致しない。	例)金額相殺理由:返品 相殺金額:2,500
複数税率への 対応	消費増税や軽減税率の対応で複数税率の併記が必要。	「税率1・2」、「税額1・2」に各税率とその金額を入力する。税率は整数で入力する。 例)8%の場合 税率1:8
備考の活用	振込内容の特定を容易にするため、商品コードや注文番号等を記載する。	「備考」に必要な情報を入力する。 例)商品コード:A01,A02,B01 例)本支払のお問合せは経理部〇〇まで
	問合せ発生時の連絡先を記載する。	TEL(99)9999-9999

ZEDIの期待効果①～業務効率化・生産性向上～



支払企業も受取企業も、
経理業務の効率化と生産性向上が実現できます！



**受取企業の事務負担
6割減！**

問合せ対応負担軽減

消込業務が効率化

※(出所)一般財団法人流通システム開発センター
共同実証の結果報告資料(2014年12月)

ZEDIの期待効果②～EDI情報の活用策～

アイデア 1 : 電子領収書としての利用

電子領収書には以下のようなメリットがあります。

【支払企業】

- ・領収書の保管コストの軽減
- ・領収書の管理負荷の軽減



【受取企業】

- ・印紙税が不要
- ・領収書作成・郵送のコストの削減



アイデア 2 : 取引金融機関による新たなサービスの提供

金融EDI情報を活用することで、企業様に様々なサービスを提供可能と考えております。

想定事例 1

コンサルタント機能や
提案活動

想定事例 2

ビジネスの将来予測や
業界動向の分析

想定事例 3

取引情報分析による
小口融資等

周知・広報活動 – 周知チラシの作成 –

- 2018年1月、周知チラシを作成、会員宛に送付するとともに、全銀協ウェブサイトに掲載（金融庁ウェブサイトにも掲載）
- 各地商工会議所、リテールテックJAPAN2018、プラスITフェア2018においても配付
- これまでに計約60万枚配付

周知チラシ

ZEDI
振込が便利になります!

2018年12月(予定)から、総合振込において、さまざまな情報(支払通知番号、請求書番号など)を受取企業に送ることが可能になります! そのお手伝いをするのが「全銀EDIシステム(Zengin EDI system) (愛称: ZEDI(ゼディ))」です。

振込がどう便利になるの?

振込の際に送信できる情報量が増えるよ

総合振込の際にお使いのフォーマットに設定可能な情報が拡充します

現状: 振込先・金額情報 EDI情報(20桁まで) 情報量がドーンと増えます!

今後: 振込先・金額情報 拡充されたEDI情報(XML電文)

取引情報や受発注情報等の設定が可能

EDI情報: 支払企業から受取企業に伝達するメッセージ。支払企業が設定
XML電文: 電文の長さなどを柔軟に設計・変更することが可能な電文方式

【全銀EDIシステム展開の背景】
未来投資戦略2017
金融EDIの活用を起点とした「企業の成長力強化のためのFinTechアクションプラン」*により、財務・決済プロセス全体のさらなる高度化を図る。
*「金融EDIの活用による企業・経済連携の促進」の中で、金融機関向けに、2018年中のXML新システム構築等に重点を置いて取り組むこととしている。

どのように便利になるのか? お客様がご利用された際のメリットは? 詳細をご覧ください。

情報の拡充により、経理関係事務を効率化

お金を取り取る企業(受取企業) | お金を振り込む企業(支払企業)

現状: 受取企業から振込の依頼も受けていない... 振込先・金額情報以外の情報も送れない... 振込先・金額情報以外の情報も送れない... 振込先・金額情報以外の情報も送れない...

今後: EDI情報が拡充されたおかげで、受取企業から送られる情報が大幅に増えるよ... 振込先企業からの問合せ対応が大変! 振込先企業からの問合せ対応が大変! 振込先企業からの問合せ対応が大変!

売掛金の消込作業*が効率化 | 問合せへの対応負担が軽減

受取企業と支払企業の双方において、生産性向上や人手不足解消につながります。

将来的なEDI情報の活用策

ZEDIを利用するには...

もっと詳しく知りたい場合はWebで
<https://www.zengin.co.jp/about/edivis/edivis.html>

全銀EDIシステム

金融庁 経済産業省 中小企業庁 全国銀行協会

金融庁ウェブサイト

金融庁
Financial Service Agency

企業の皆様、ご存じでしたか?
振込が便利になります!

～2018年12月(予定)から銀行界のシステムインフラ、全銀EDIシステムが稼働します～

2018年12月(予定)から、銀行の総合振込において、振込に関するさまざまな情報(支払通知番号、請求書番号など)を受取企業に送ることが可能となります。

振込情報として請求書番号等の商取引に関する情報(商社情報)を送付することが可能となり、売掛金の消込作業の効率化、経理事務負担の軽減が期待されます。

将来的なEDI情報の活用策等、詳細については、全銀銀行協会作成の周知チラシや、関係者ホームページの記載をご覧ください!

関係資料

【周知チラシ(全銀銀行協会作成)】
全銀EDIシステム(金融)の活用(2018年1月) (PDF: 1.5MB)

【関係リンク】
「全銀EDIシステム」の概要と全銀EDIの活用(一社対法人全銀銀行協会ホームページ) | 経済産業省(経済産業省) | 金融庁ホームページ

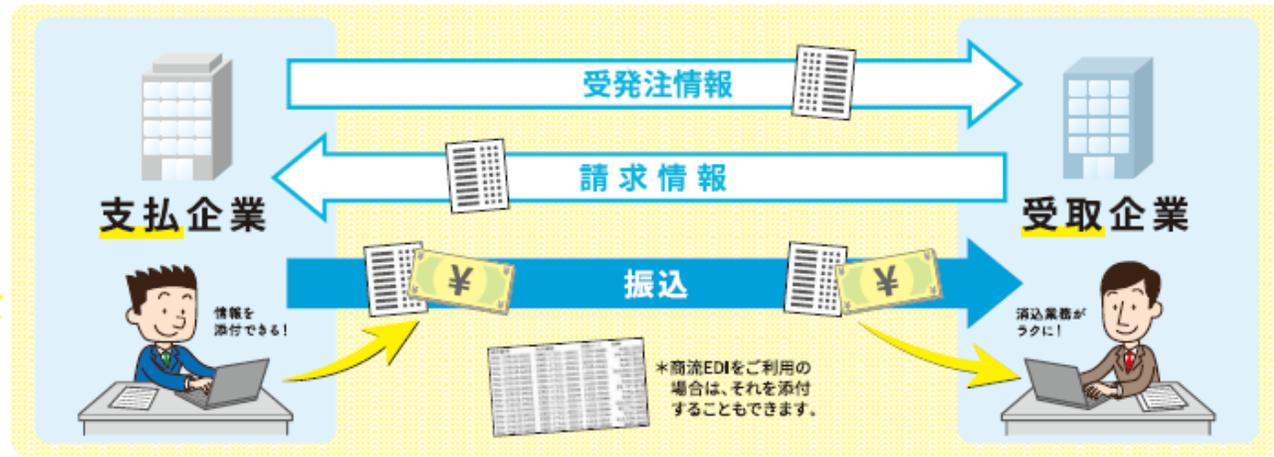
周知・広報活動 -リーフレットの作成②-

振込に情報を添付できるから、
消込業務が格段にラクに！
これが、ZEDIの効果です。

ZEDIとは、企業や個人事業主が、振込に必要な請求番号や商品名などの情報を自由にたくさん添付できるようにするシステムです。これにより、例えばひと月分の売上がまとめて振り込まれた場合でも、明細が一目瞭然。売掛金の消込の負担が軽減され、経理業務の効率化と生産性向上が実現できます。

※(出所)一般財団法人決済システム開発センター
共同実証の結算報告資料(2014年12月)

事務負担
6割減!



ZEDIを利用するには、どうしたら?

〈現在の振込方法〉

- ファームバンキング、インターネットバンキングをご利用の場合
- ATM、銀行窓口、ファクシミリをご利用の場合

〈利用に必要な対応〉

- ソフトウェアのバージョンアップ等を実施
- まずはファームバンキング、インターネットバンキングへの加入

ZEDIに対応したファームバンキング、インターネットバンキングがご利用可能に。

2018年12月25日提供予定

詳しくは、お取引金融機関にお問合せください。

ZEDIに対応した振込電文を簡単に作成できるツールが無料でご利用いただけます。

全国銀行資金決済ネットワークでは、Webブラウザの画面上で情報を入力し、ZEDIに対応した振込電文を簡単に作成できるツール「S-ZEDI」を無料でご提供します。

2018年12月25日提供予定

周知・広報活動 – 周知ツール製作、全国説明会の開催 –

- 全銀EDIシステムのリリースに際し、周知ツールを製作し、様々な媒体を活用した周知活動を実施。
- 2018年9月を広報推進強化月間と位置づけ、全国47都道府県で説明会を開催。

・周知・利用促進活動

① 周知ツールの製作、活用

周知ツール	主な活用方法	成果
リーフレット	全銀協、金融庁ウェブサイトへの掲載	—
	金融機関、商工会議所、経産省等が配布	約75万部
動画(3種)	全銀協ウェブサイトおよびSNSで放映	再生回数 約10万回*
	東京メトロ車内ビジョンで放映(1/7週)	平均利用者 約724万人/日

※ 2019年1月7日時点

② 企業向け説明会等の実施

取組み	概要	成果
企業向け説明会	全国の商工会議所や金融機関等と連携、全47都道府県で開催	参加者合計 約2,300人
新聞広告	日経、読売、朝日の3紙(朝刊)にZEDIリリースの広告を掲載	購読者合計 約1,800万人
企業向け案内	NTT東西「INSネット終了のお知らせ」へのZEDI紹介文の記載	送付先 約60万社

～全銀EDIシステムの稼動を迎えて～



企業の皆さま!
ZEDIをご利用いただき、
経理業務の効率化と
生産性向上に
お役立てください!!

ありがとうございました